

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 048	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
要望問題名 光センシング技術による土壌分析に対する従来の分析との比較及び分析値の妥当性の有無	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 生産者が使用する鉢物培養土などの土壌分析は、JAが窓口となり定期的実施しているが、分析センターの分析点数増加や様々な機関経由の結果、結果が迅速に生産者に戻されない事例がある。その中で、大規模法人化する生産者などにおいては、自前で簡易かつ迅速にできる光センシングによる土壌分析器機を導入したいという要望がでていますが、現在発売されている簡易土壌分析器機の分析値に対する信頼性は明らかでない。簡易で迅速な土壌分析の必要性は、様々な作目や地域にあるため、このような新しい簡易分析装置による分析値および、神奈川版土壌診断プログラム等の診断・施肥設計結果に対する、整合性についての検討を願います。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部土壌環境研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 すでに販売されている新しい機器類を、当センターで実際に導入して試験することは困難ですが、導入事例の収集に努めます。また、現場でできるより簡易な土壌診断・施肥診断・作物栄養診断の方法については、今後も引き続き課題化して検討していきます。			
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			